

監 査 通 知 書

2016年5月11日

社会福祉法人 千鳥会
理事長 吉村 秀樹 様

監 事 宮尾 康子 
監 事 船越 洋子 

社会福祉法第 40 条並びに社会福祉法人千鳥会定款第 11 条及び監事監査実施
規程に基づき、下記のとおり監査を実施します。

記

1. 日 時 西暦 2016 年 5 月 11 日(水) 10 時 00 分～16 時 00 分
2. 場 所 社会福祉法人千鳥会 法人本部
3. 監査の種別 定期監査
4. 監査の内容 理事・評議員の業務執行の状況
法人の組織運営状況
事業(活動)状況、施設・事業の運営管理状況
福祉サービスの質の向上のための取組状況
法人及び事業の会計状況
その他
5. 出席を求める者 理事長・各施設管理者等
6. 準備すべき書類 監事監査チェックシートに基づく確認する書類

(別表) 監事監査重点項目

事 項	監 事 意 見	
法人の組織運営事項 (規定、役員・理事会・ 評議員会)	定款・経理規定・就業規則・給与規定・その他必要な規定が整備されている。 総括出納職員を配置しているが経理規定の中で明確になっていないため、明確にした方が望ましいのではないか。	
法人の組織運営状況 (人事・労務管理)	定款に記載されている事業(事業目的)と実際に行われている事業が合致している。 職員の健康診断は法的に実施されており、「要検査」職員に対してフォローアップも出来ている。 職員の働きやすい環境整備の取り組みとして、職員及リーダーと施設長面談を実施しており、職員とのコミュニケーションを図っている。その結果職員の定着に繋がっている。 人材育成のためにも資格取得に積極的に取り組み、次期幹部候補の育成に計画的に取り組んでください。 職員が産前産後休暇後に育児休暇を取得しやすい環境であり、取得後も職場に復帰しやすい環境づくりに取り組んでいるため、その結果職員の定着にも繋がっている。	
事業(活動)状況、施設・ 事業の運営管理状況	火災時の避難訓練は、全事業所で年2回実施されている。 27年度介護報酬減算改定があったが、各事業所が加算取得を積極的に行ったことで安定した収入となっている。又、各事業所が、経費削減・省エネ対策にも取り組んでいるため、支出を抑えている。 職員が一体となり安定した運営を目指していることに感銘する。	
福祉サービスの質の向上の ための取組状況	※夜間及び深夜の時間帯に勤務する職員の内1名以上は、喀たん吸引等を行える職員を配置している。 又 毎年、喀たん吸引研修、介護職員実務者研修を実施し職員の質の向上に取り組んでいる。 ※感染予防対策として最小限に食い止める対策を講じているため、感染が拡大していない。 ※アクシデント等が発生した際に、事業所内では情報共有できているが、法人全体での情報共有が乏しいと感じるため、法人全体での情報共有に努め、同じ事故が発生しない対策が必要と感じる。 ※消防マニュアルは整備されているが、地震・津波マニュアルが更新されていない。今後南海トラフと地震が発生する可能性に備え、早急に新マニュアルの作成が必要と感じる。	
入所者預り金	入所者預り金は各人ごとに預金口座を設定し、管理のための預り金出納帳も整備されている。 入出金の場合は、複数の職員で確認している。	
法人 及び 事業 の 会計 状況	会計帳簿の状況	主要簿及補助簿が整備されている。 佐野デイサービスセンターの会計を本部で行っている。各事業所で収支の確認をするためにも事業所で行える組織管理が必要と思われる。
	予算編成状況	経理規定に基づき適切に対処されている。 予算執行中に、予算に変更事由が生じているが、その際には補正予算を作成し理事会に提出し、承認を得ている。
	出納・財務の状況	会計責任者も施設毎に任命され職務分担が明確になっている。 会計伝票は、取引先からの請求書等の証憑に基づいて作成され、会計ごとに整理保管されている。 毎月会計区分ごとに、仕訳日記帳・出納帳・貸借対照表・月次資金収支計算書を作成し、預金残高・予算管理・その他の残高確認も行われており、毎月出納・財務の管理ができています。
	契約状況 (契約方法、入札方法)	契約は経理規定に定められた方法で行われている。 物品等の購入等について断続的に行われている場合も、定期的に契約の見直しも行われている。 一部の事業所(しおさい)で契約書が未提出のため確認が出来なかったため、次回の監査時には提出してください。
	資産の管理状況	毎月末日における貸借対象表に基づき、未収金・未払金等の管理ができていますが、一部の事業所で利用者負担分が滞納している利用者がある。ご家族と協議し滞納のない対策を講じる事。 基本財産は、定款及び登記簿謄本と一致している。 資産総額の変更登記も毎年5月末までに実施できている。 理事長の重任登記も2週間以内に登記されている。
	決算書類の作成状況	※前年度末残高の金額が前年度の決算額と一致している。 ※貸借対照表の借方と貸方の金額が一致している。 ※流動資産－流動負債＝資金収支計算書の当期末支払資金残高と一致している。 ※貸借対照表と事業活動計算書の次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額)が一致している。
	決算書(決算書類)の チェック	決算書類も会計単位ごとに作成しており、金融機関より残高証明も入手しており、貸借対照表及び財産目録における預金・借入金等の残高が一致している。 その他不適正、不適切な資金移動も行っていない。 注記も法人全体、拠点区分毎に記載されている。
その他(意見)	行政監査 しおさいで前回は指摘された事項が改善されておらず、文書指導となっている。今後文書指導は勿論のこと口頭指導0を目指し法令を守ってください。 介護報酬の請求が伝送ソフトになっていない事業所がある。28年度中に伝送ソフトに移行してください。	